

平成29年11月30日
警 察 本 部

平成29年度「県民の安心感に関するアンケート調査」の実施結果について

1 趣旨

「めざそう！安全・安心・日本一」ひろしまアクション・プランの運動目標に係る推進指標として、「刑法犯認知件数の更なる縮減」とともに、「県民の体感治安の向上（治安良好と感じる人の割合90%以上）」が設定されていることから、地域住民の「安心」に関するニーズを継続的かつ的確に把握し、体感治安の向上に向けた取組を推進するため、昨年度に引き続き、アンケート調査を実施したもの。

2 調査期間

平成29年7月21日（金）から同年8月10日（木）までの21日間

3 調査方法

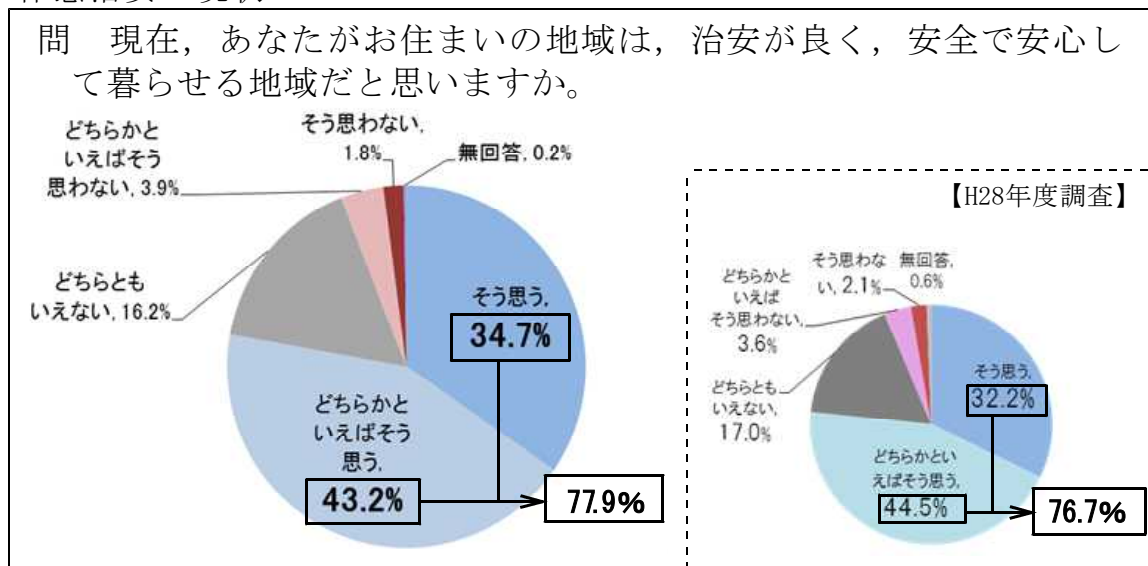
原則として、各交番・駐在所・署所在地勤務員が、担当する各受持区から男女1人ずつ計2人を選定の上、巡回連絡を通じて調査票に基づきアンケートを実施（入力・集計業務は業者委託。）。

4 有効サンプル数

2,219人（男性 1,074人，女性 1,145人）

5 調査結果

(1) 体感治安の現状



※ アクション・プランの指標としている県政世論調査では、「どちらともいえない」の選択肢なし。

(2) その他

別添のとおり

6 参考事項

県政世論調査の結果は、本年12月に公表予定。



1 趣 旨

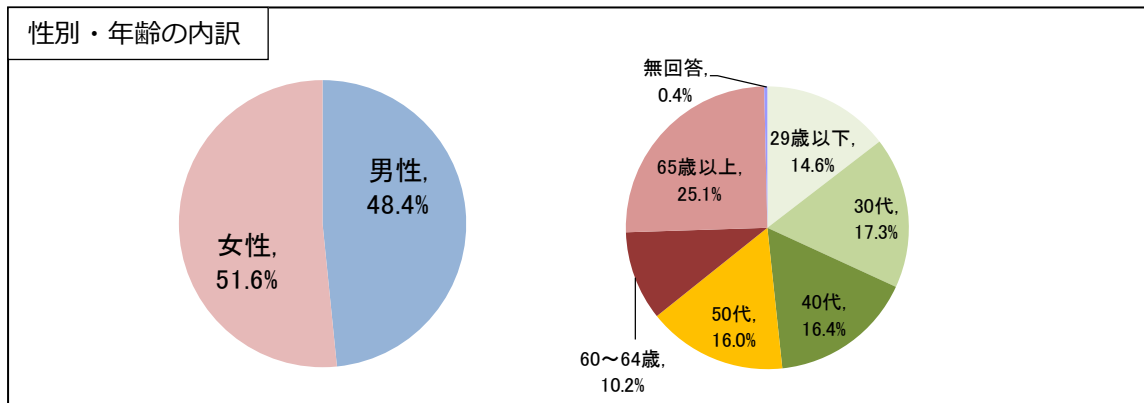
第4期アクション・プランの運動目標に掲げた「体感治安の向上」の達成状況を確認するとともに、目標達成に向けた取組の一層の推進を図るため、地域住民に対するアンケート調査を行ったもの。

【把握すべき事項】

- ① 体感治安の現状
- ② 防犯意識（防犯対策）の浸透度
- ③ 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪
- ④ 体感治安に影響する要因

2 調査方法

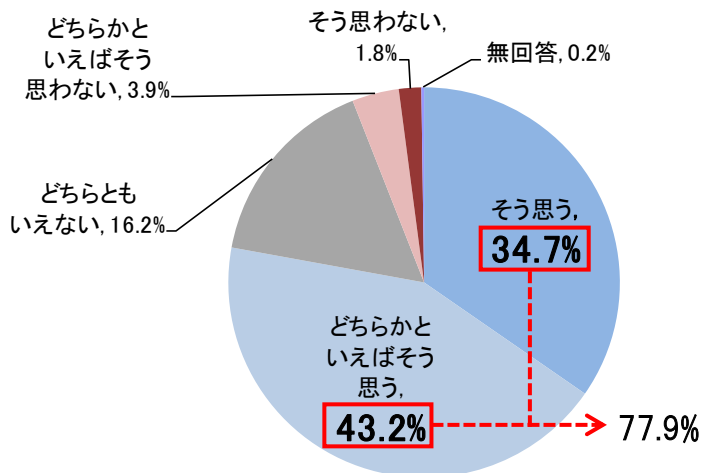
- サンプル数：2,219 人
- 実施期間：平成 29 年 7 月 21 日～8 月 10 日
- 調査方法：県内全 307 の交番・駐在所等の警察官が受持区域の住宅等を戸別訪問するなどして実施。



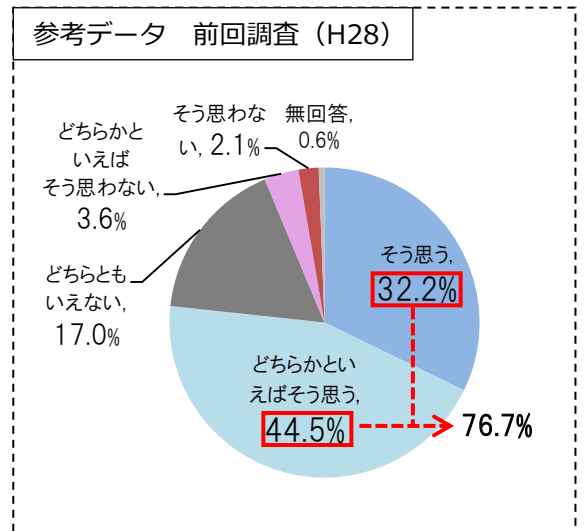
3 調査結果

① 体感治安の現状

問 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



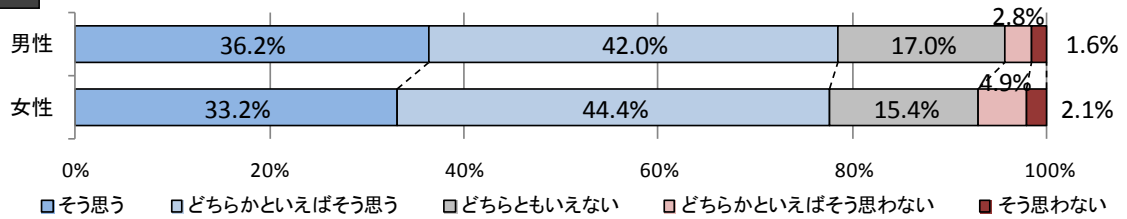
居住地域の体感治安について、
77.9% の県民が肯定的
5.7% の県民が否定的



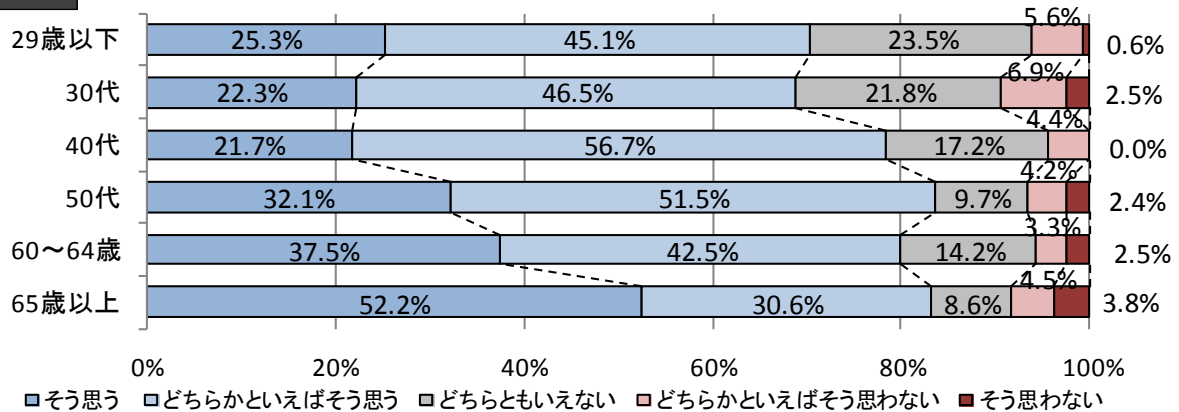
属性別の体感治安

男女別

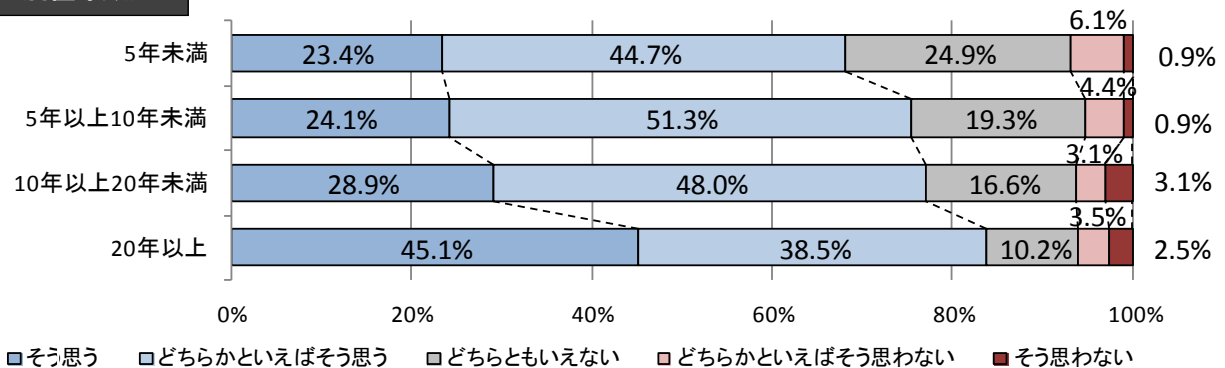
現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。(以下同じ)



年齢別



居住年数別



- 男女別では、「そう思う」と回答した女性は男性と比べて3.0ポイント少ない。
- 年齢別では、年齢が若いほど体感治安が低い傾向にある。
- 居住年数別では、居住年数が短いほど体感治安が低く、「そう思う」と回答した5年未満の人は20年以上の人と比べて21.7ポイント少ない。

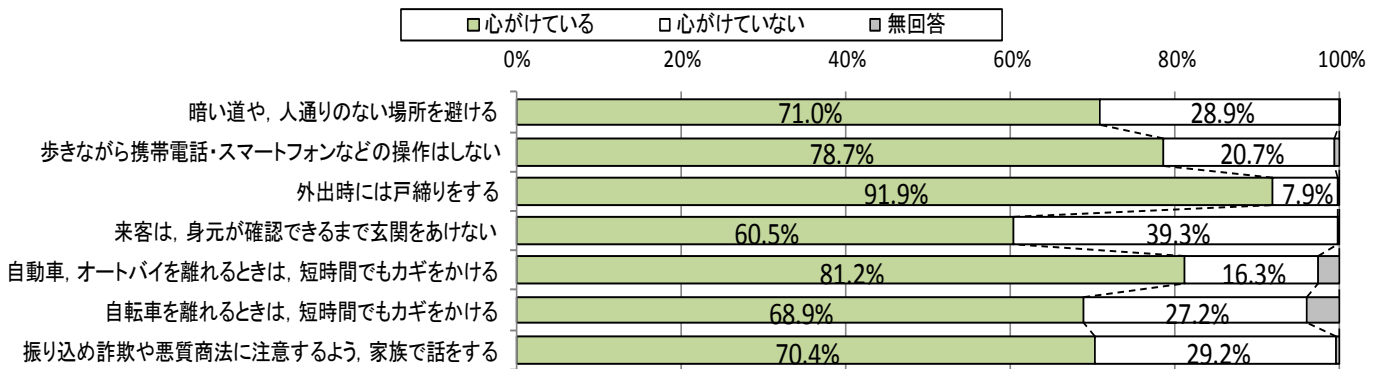
治安良好と思わないと回答した理由

本人や身近な人が犯罪被害に遭った、遭いそうになった（アポ電話等）	24人
地域の連帯感が希薄になった（知らない人が増えた、近隣トラブルがある）	14人
不審者（情報）が増えた	12人
人のモラルが低下した（交通違反・マナー違反・迷惑行為が増えた）	8人
暴走族やバイクの音がうるさい、少年がたむろ・深夜徘徊等している	8人
地域内で実際に犯罪が発生した	8人
空き家が増えた、過疎化が進んだ、街灯等の防犯施設が少ない	5人
その他	9人
無回答	18人

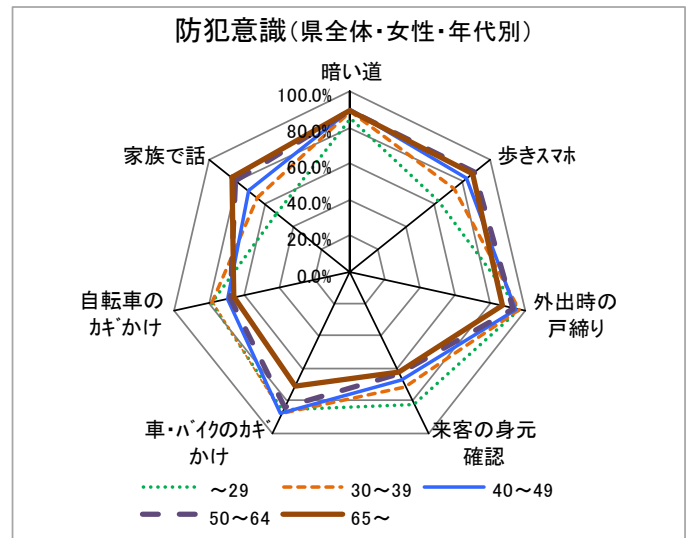
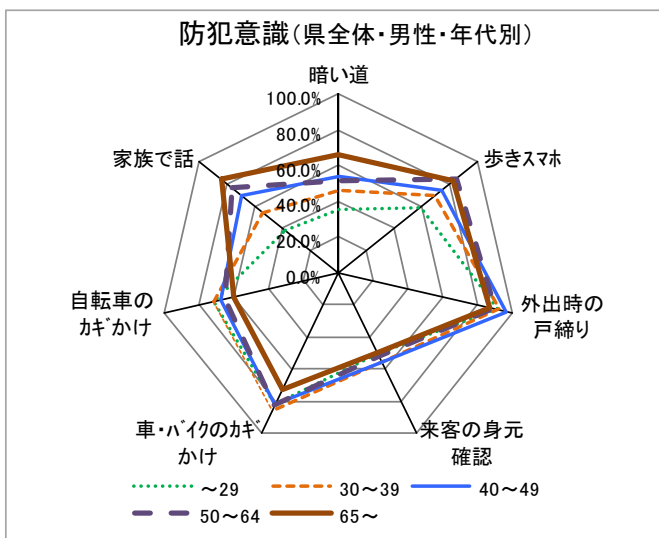
※ フリーアンサーで得た回答を分類したもの。

② 防犯意識（防犯対策）の浸透度

問 あなたは、日頃から次のようなことを心がけていますか。



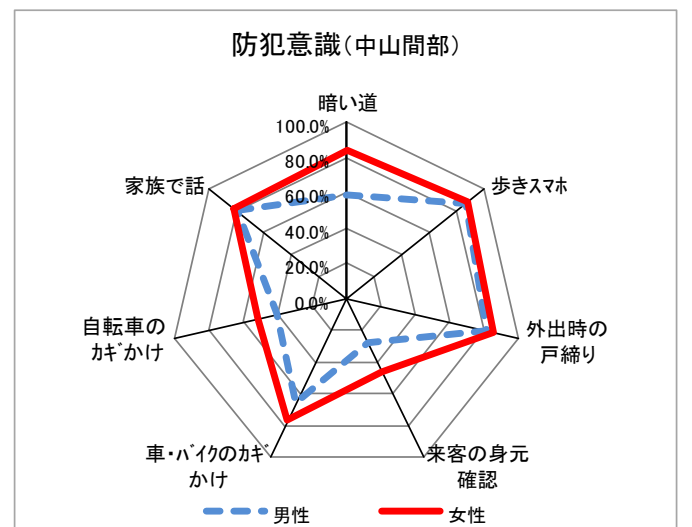
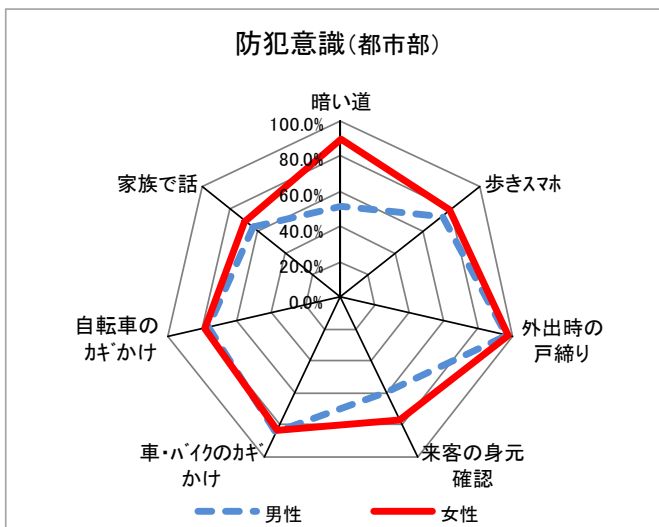
男女別



- 男女別では、「暗い道を避ける」「来客の身元を確認する」は女性の方が割合が高い。
- 年齢別では、「家族で話をする」は若いほど割合が低く、「カギかけ」は高齢になるほど割合が低い。

地域別

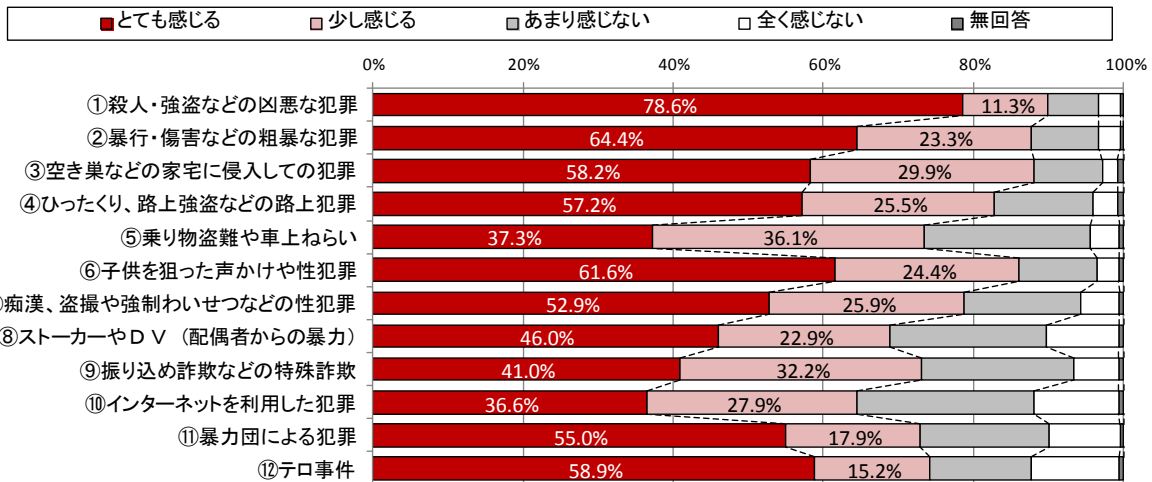
都市部 … 広島中央署、広島東署、広島西署、広島南署、安佐南署、安佐北署、佐伯署、海田署分を集計
 中山間部 … 山県署、府中署、三次署、庄原署、安芸高田署、世羅署分を集計



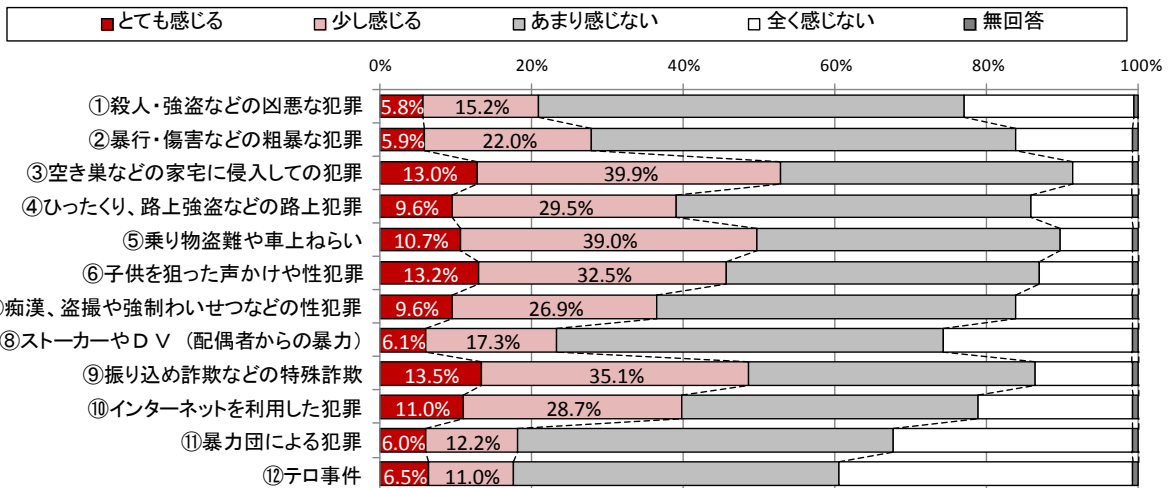
- 都市部では、全般的に防犯意識が高いが、男性の場合、「暗い道を避ける」「来客の身元を確認する」は割合が低い。
- 中山間部では、「家族で話」の割合が高く、「自転車のカギかけ」「来客の身元確認」の割合が低い。

③ 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪

問 あなたは、次の各々の犯罪に対して、どの程度「怖い」と感じますか。【犯罪脅威度】



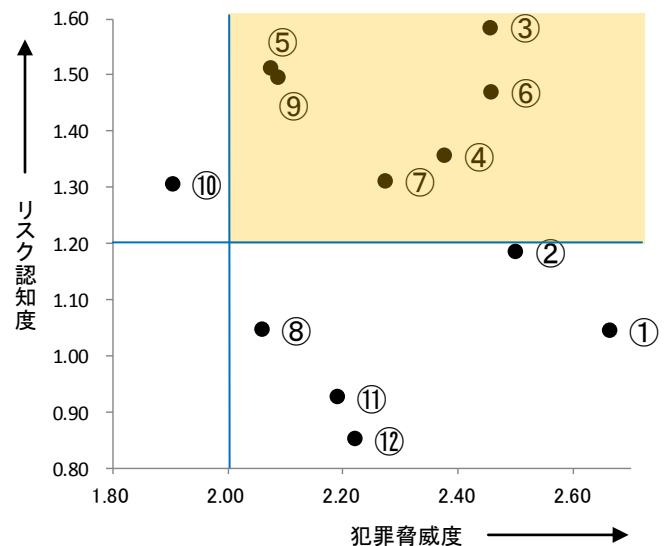
問 あなたは、お住まいの地域で、次の各々の犯罪に対して「自分や身近な人が被害にあう可能性」をどの程度感じますか。【リスク認知度】



犯罪脅威度 × リスク認知度

	犯罪脅威度	リスク認知度
①殺人・強盗などの凶悪な犯罪	2.66	1.05
②暴行・傷害などの粗暴な犯罪	2.50	1.19
③空き巣などの家宅に侵入しての犯罪	2.46	1.58
④ひったくり、路上強盗などの路上犯罪	2.38	1.36
⑤乗り物盗難や車上ねらい	2.07	1.51
⑥子供を狙った声かけや性犯罪	2.46	1.47
⑦痴漢、盗撮や強制わいせつなどの性犯罪	2.27	1.31
⑧ストーカーやDV（配偶者からの暴力）	2.06	1.05
⑨振り込め詐欺などの特殊詐欺	2.09	1.50
⑩インターネットを利用した犯罪	1.90	1.31
⑪暴力団による犯罪	2.19	0.93
⑫テロ事件	2.22	0.85

※ 犯罪脅威度・リスク認知度とも、「あまり感じない」= 1点、「少し感じる」= 2点、「とても感じる」= 3点として算出した加重平均値。



身近な犯罪（侵入窃盗、街頭犯罪など）や子供・女性を狙った犯罪、特殊詐欺などが、犯罪脅威度（犯罪そのものの怖さの程度）とリスク認知度（被害に遭う可能性を感じる程度）がともに高い。

一方で、①殺人・強盗などの凶悪犯罪の脅威度は高いがリスク認知度が低く、逆に⑩インターネット犯罪はリスクの認知はされているが、脅威度は低いと感じられている。

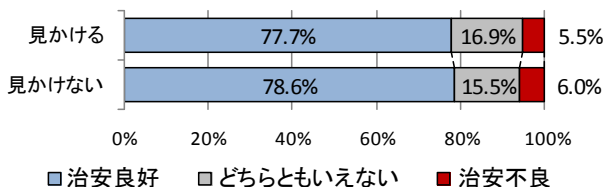
④ 体感治安に影響する要因

体感治安を悪化させる環境要因

各項目の棒グラフは、それぞれについて「見かけるかどうか」に対する回答と、「現在の居住地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思うか」に対する回答とをクロス集計したものの。

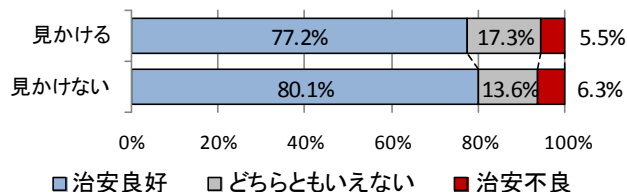
空き家、空き店舗、荒れた空き地や公園

見かける 54.4% 見かけない 45.5% 無回答 0.1%



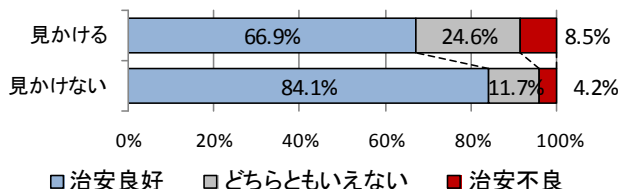
夜、街灯が少なく暗いところ

見かける 71.9% 見かけない 27.9% 無回答 0.2%



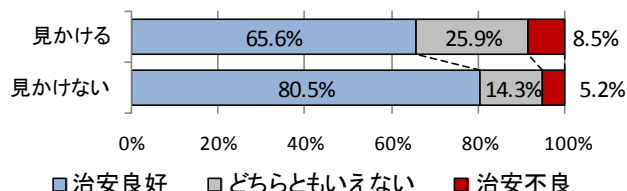
乗り捨てられた自転車やオートバイ

見かける 35.3% 見かけない 64.6% 無回答 0.1%



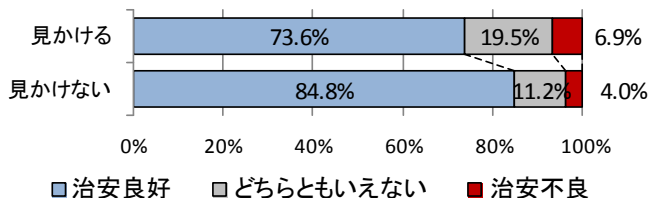
スプレーによる落書き

見かける 16.4% 見かけない 83.6% 無回答 0.0%



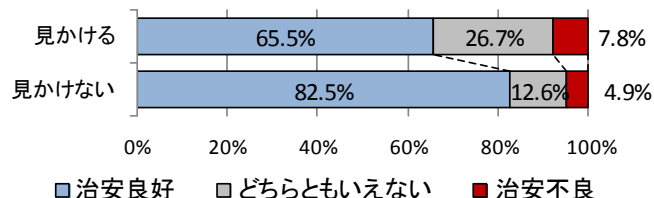
路上に捨てられたゴミやタバコの吸い殻

見かける 60.2% 見かけない 39.7% 無回答 0.0%



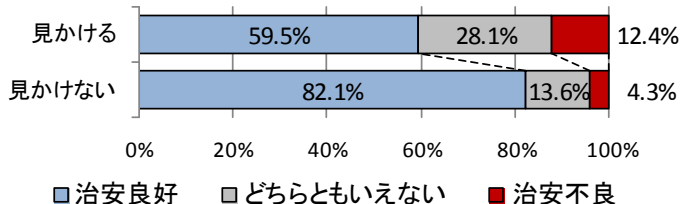
夜、たむろしている若者

見かける 25.9% 見かけない 73.9% 無回答 0.2%



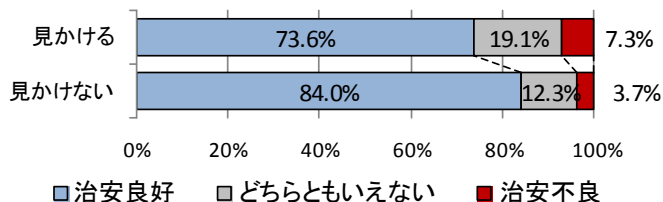
大声でさわいでいる人、けんか、路上での飲酒

見かける 17.8% 見かけない 82.2% 無回答 0.0%



爆音を立てて走るオートバイや自動車

見かける 57.2% 見かけない 42.6% 無回答 0.2%



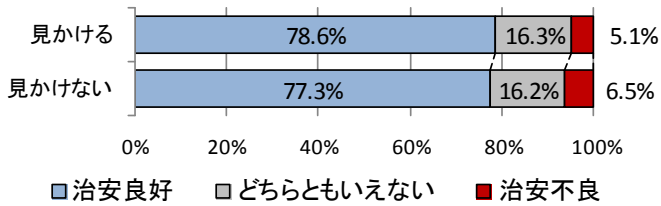
調査した環境要因のうち、治安良好と感じる割合に悪影響を与えるものは、順に、

- ① 大声でさわいでいる人、けんか、路上での飲酒（治安良好と感じる割合の差 -22.6p）
 - ② 乗り捨てられた自転車やオートバイ（同上 -17.2p）
 - ③ 夜、たむろしている若者（同上 -17.0p）
 - ④ スプレーによる落書き（同上 -14.9p）
 - ⑤ 路上に捨てられたゴミやタバコの吸い殻（同上 -11.2p）
 - ⑥ 爆音を立てて走るオートバイや自動車（同上 -10.4p）
- となっている。

体感治安を向上させる環境要因

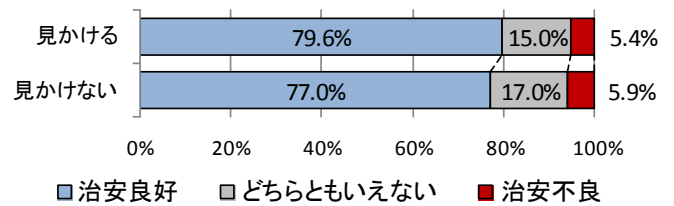
住民による防犯パトロール

見かける 53.6% 見かけない 46.3% 無回答 0.1%



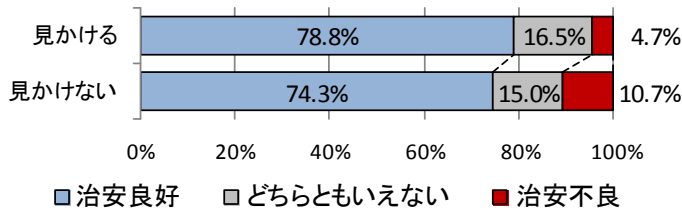
青色防犯パトロール車

見かける 38.3% 見かけない 61.6% 無回答 0.2%



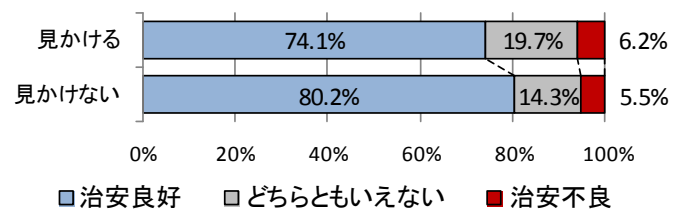
パトロールしている警察官, パトカー

見かける 83.9% 見かけない 16.0% 無回答 0.1%



公共の場所に設置された防犯カメラ

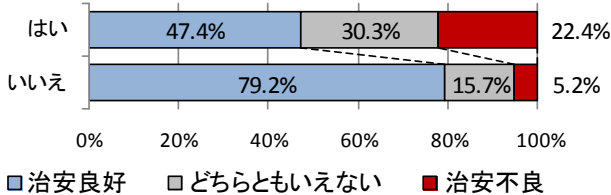
見かける 36.5% 見かけない 63.3% 無回答 0.3%



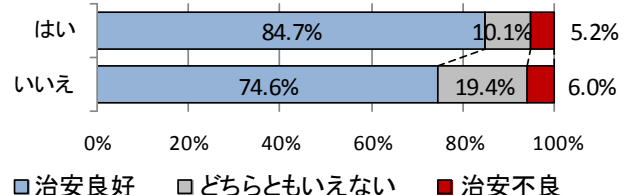
調査した環境要因のうち、治安良好と感じる割合に好影響を与えるものは、順に、
 ① パトロールしている警察官, パトカー (治安良好と感じる割合の差 +4.5p)
 ② 防犯パトロール車 (青色回転灯をのせた車両) (同上 +2.6p)
 ③ 住民による防犯パトロール (同上 +1.3p)
 となっている。

体感治安に影響を与えるその他の要因

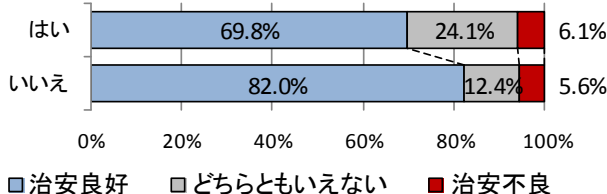
この1年間に、犯罪の被害にあったことがある



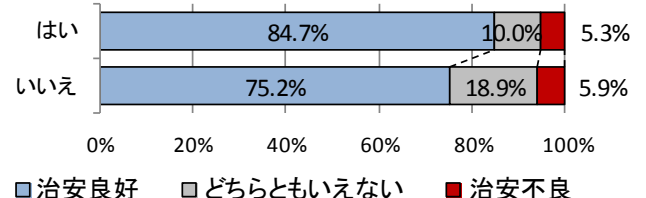
65歳以上の高齢者と同居している



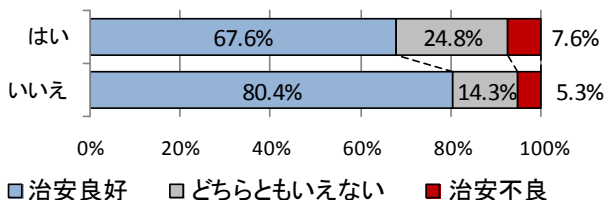
近所づきあいは、ほとんどない



自主的な防犯活動に参加したことがある



一人住まいである



自己の経験や生活形態も体感治安に影響しており、犯罪被害の経験や地域コミュニティの欠如はマイナス方向に、家族との同居や防犯活動への参加はプラス方向に作用しているといえる。